

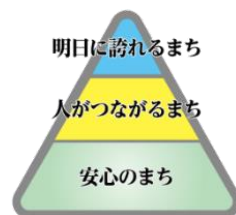
区の目標(何をめざすのか)

「安心のまち、人がつながるまち、明日に誇れるまち」の実現



区の使命(どのような役割を担うのか)

- ・区民の安全・安心を守る防災・防犯などを礎に、活力ある地域社会の実現
- ・地域の見守りなど、誰もが安心して暮らすための健康・福祉の充実
- ・水と緑の豊かな都島区の魅力を発信し、わがまち意識の醸成をはかる



令和2年度 区運営の基本的な考え方(区長の方針)

- ・「幸せになれるまち、都島区」の実現をめざします。
- ・「教育力向上区宣言」を通して、教育力の高いまちの実現をめざします。

重点的に取り組む主な経営課題(様式2)

経営課題1 安全・安心のまちづくり

経営課題の概要	主な戦略	主な具体的取組(2年度予算額)
区民の防災意識の醸成を図るとともに、災害への備えなど意識から実践につながるよう、幅広い世代に対する啓発等に取り組む必要がある。	(防災のまちづくり) 地域、行政、関係機関と連携した訓練や出前講座等の実施を通じて、防災意識の向上を図る。また、防災・減災について、日ごろの備えの必要性を広めるとともに、災害時の避難行動につなげる。	(自助の取組の推進) 区民の防災意識の醸成を図るため、幅広い世代への啓発を行う。 (1,976千円)

経営課題2 人と人がつながり、助け合うまちづくり

経営課題の概要	主な戦略	主な具体的取組(2年度予算額)
子育てに不安を感じる保護者が孤立することを防ぎ、子育ての負担感・不安感を軽減するため、地域の子育て情報を周知するとともに、相談窓口を拡充する必要がある。	(いきいきと健康に暮らせる福祉のまちづくり(子育て支援)) 子育てに不安を感じる保護者等が気軽に相談できるよう、身近なところで相談等を実施するなど、子育て支援を推進する。	(子育て相談体制の充実) 子育ての不安感や負担感を軽減するため、様々な機会をとらえて相談できる窓口等を周知し、精神保健福祉士等の有資格者が専門性を活かし、相談に応じる。 (12,972千円)

経営課題3 明日に誇れるまちづくり

経営課題の概要	主な戦略	主な具体的取組(2年度予算額)
学校や家庭だけでなく、地域で子どもを支える場づくりなど、子どもが明るく健やかに成長できるよう、環境を整備する必要がある。	(未来の都島を担う人材育成) 学校内外で子どもが学力・体力向上に取り組めるよう支援する。	(教育力向上支援) 学校内外で子どもが学習や運動に積極的に取り組めるよう、授業への支援や学校外での学習の機会・場の創出を推進する。 (4,953千円)

経営課題4 区役所力の強化

経営課題の概要	主な戦略	主な具体的取組(2年度予算額)
行政や地域活動の情報を、読み手視点でわかりやすく、かつ対象に応じて提供する必要がある。(情報発信ツールの検討等も含む)	(区民の声が区政に反映される仕組みづくり) すべての区民に行政サービスや地域活動の様子をわかりやすく提供するとともに、読み手視点に立った情報をタイムリーに発信する。	(広報の強化) 広報誌を全戸配付し、区民にわかりやすい情報を提供する。また、ホームページやSNS等を活用して、行政情報ははじめ、地域活動の様子をタイムリーに発信する。 (21,942千円)

市政改革プラン3.0に基づく取組等(様式3)

主な取組項目	取組内容
—	—
—	—
—	—
—	—

1年間の取組成果と今後取り組みたいこと

区運営方針に掲げる各経営課題の戦略ごとの具体的取組については、着実に推進できており、目標は概ね達成し、一定の成果を得ることができたと認識している。

(安全・安心のまちづくり)

区民の安全・安心を守るため、地域、企業、関係機関等と連携した防災・防犯活動等の取組を進めた。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、地域主体の防災訓練など各種イベント、市民協働型の啓発は実施できなかったものの、SNSを活用し、自助や共助の啓発、防犯情報や犯罪発生情報、環境美化意識の向上に向けた啓発などの情報発信を行った。

引き続き、各事業において効果的な啓発等に取り組んでいくとともに、京橋地域の路上喫煙禁止地区の啓発においては、更なる制度周知と喫煙マナーの向上に向けた啓発活動等に取り組んでいく。

(人と人がつながり、助け合うまちづくり)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、区民まつりの中止など、地域のつながりづくりが難しい状況であったが、区広報誌やSNSで情報発信を行い、地域住民の地域活動への理解促進に努めた。今後は、感染症対策を実施しながら、人と人とのつながりの機会の提供のあり方などの検討を進めるとともに、地域活動に関わりの薄い住民の参加促進や第一層支援などの取組を進めていく。

その他、地域福祉コーディネート事業についても、引き続き、感染症対策を講じたうえで、電話や訪問を中心とした見守り活動に取り組む。子育て支援については、地域の子育て情報の周知や相談窓口の拡充を行い、子育て支援室で受けた相談件数は前年度より増加した。子育ての負担感・不安感は子どもの成長とともに増加していくため、引き続き相談に応じていく。

(明日に誇れるまちづくり)

魅力あるまちづくりについては、新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から、水辺を利用したスポーツイベント等の開催が中止となったが、SNS等を利用したPR活動を行い、水辺の利用者数は前年度を上回った。また、今年度から、区の魅力資源を紹介する動画を作成し、積極的に動画共有サービスを用いた情報発信等を行った。引き続き、民間主体の水辺のにぎわいづくりや、デジタルとアナログを織り交ぜた愛着醸成に向けた取組を行う。

未来の都島を担う人材育成について、小学校体育科授業へのスポーツトレーナー派遣による実技指導や、中学生対象の放課後課外授業、学習支援と悩み相談を行う「こどもの居場所」の開設など、教育力向上支援として、学校内外での学習の機会・場の創出に取り組んだ。また、小学生の放課後学習支援においては、2校において補習学習会を実施し、学習習慣の定着や学力向上に取り組んだ。いずれの取組も参加者等から高い評価がなされた。今後は、子どもを支える環境を充実させ、区の実情に応じた教育施策を保護者や学校、地域と連携して推進する。

(区役所力の強化)

区政会議、区民アンケート及び区長出前講座などを通じて、多様な区民意見やニーズの把握に取り組み、区民の声が区政に反映される仕組みづくりを促進した。また、広報誌の全戸配付やLINE公式アカウントの運用開始など、タイムリーな情報発信を行い、一定の効果が得られた。今後は、ターゲットに応じた媒体の活用を図り、幅広い世代に情報を届けられるよう取り組んでいく。

区民が満足・納得できる区役所運営については、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、外部講師による接遇研修が実施できなかったが、「来庁者等に対する窓口サービスの格付」は、☆2つ(民間の窓口サービスの平均的なレベルを上回るレベル)を獲得した。また、区役所庁舎内の改修工事を実施し、環境整備の改善に努めた。引き続き、サービスレベルの向上に取り組んでいく。

解決すべき課題と今後の改善方向

「市政改革プラン3.0」の改革の柱である「地域活動協議会による自律的な地域運営の促進」について、人と人とのつながりの希薄化や、担い手不足など、解決すべき課題があると認識している。引き続き、地域に関わりの薄い住民参加の促進をはじめ、地域の実情に即した活動支援に取り組んでいく。

「安心のまち、人がつながるまち、明日に誇れるまち」の実現に向け、地域活動やイベント情報について、広報誌の連載やSNSなどを活用し、あらゆる機会を通じてタイムリーに発信することで、地域コミュニティの活性化につなげていくとともに、区民の意見やニーズの的確な把握に努めるなど、より効果的な区政運営に取り組んでいく。



# 経営課題 1 安全・安心のまちづくり



### 防災のまちづくり

**めざすべき将来像**  
最終的なめざす状態<概ね10~20年間を念頭に設定>  
全区民が災害への備えをし、避難行動のできる状態

**現状**<課題設定の根拠となる現状・データ>

**災害が起きた時の動きや避難する場所を知っている区民の割合**

年度	割合
H29	70%
H30	76%
R1	77%

(元年度区民アンケート)

**災害への備えを意識している区民の割合**

年度	備えをしている	備えをしようとしている	合計
H29	48%	33%	81%
H30	61%	25%	86%
R1	66%	22%	88%

(元年度区民アンケート)

**要因分析**  
くめざすべき将来像と現状に差が生じる要因の分析結果>

- 災害時の避難場所等を認知している区民の割合は年々増加しているが、目標とする80%には到達していない。
- 備えの必要性を理解している区民の割合は約9割となっているものの、約2割の区民はまだ備えには至っていない。

**課題**<上記要因を解消するために必要なこと>

- 区民の防災意識の醸成を図るとともに、災害への備えなど意識から実践につながるよう、幅広い世代に対する啓発等に取り組む必要がある。

### 防犯のまちづくり

**めざすべき将来像**  
最終的なめざす状態<概ね10~20年間を念頭に設定>  
全区民が防犯を意識し、街頭における犯罪を抑止する環境が整っている状態

**現状**<課題設定の根拠となる現状・データ>

**大阪重点犯罪5手口の区内犯罪発生件数**

年度	発生件数
H29	256件
H30	173件
R1	124件

(大阪府犯罪統計資料より)

**都島区内の特殊詐欺被害の状況**

年度	被害件数
H29	26件
H30	18件
R1	24件

(大阪府警本部資料より)

**要因分析**  
くめざすべき将来像と現状に差が生じる要因の分析結果>

- 警察や地域と連携した啓発等に取り組むことで、大阪重点犯罪5手口は減少しているものの、高齢者等を狙ったアポ電等の特殊詐欺の被害件数は増加に転じている。

※アポ電等とは、特殊詐欺の犯人が発信した電話・メール封書等のこと

**課題**<上記要因を解消するために必要なこと>

- 警察と連携した効果的な啓発など区民の防犯意識の向上に取り組むとともに、犯罪を起こしにくい環境整備にも取り組む必要がある。

### 人に優しいまちづくり

**めざすべき将来像**  
最終的なめざす状態<概ね10~20年間を念頭に設定>  
喫煙マナーが守られるなど、人に優しく、誰もが安全に通行ができる状態

**現状**<課題設定の根拠となる現状・データ>

**個人の清掃活動がつながり広がれば、都島区のまちが美しくなると思う割合**

あまりかわらない 美しくなる

97.8%

(元年度クリーン作戦アンケート)

- 京橋地域を「路上喫煙禁止地区」に指定(27年2月)

**京橋地域の路上喫煙マナーが向上したと感じる区民の割合**

年度	割合
H28	43%
H29	47%
H30	49%
R1	61%

(元年度区民アンケート)

**要因分析**  
くめざすべき将来像と現状に差が生じる要因の分析結果>

- 喫煙マナー、区内一斉清掃などの啓発等を行っているが、受動喫煙やポイ捨てごみ等により、区民・来街者の不快感などを抱かせている。

**課題**<上記要因を解消するために必要なこと>

- ポイ捨てや受動喫煙被害の無いよう喫煙マナーなど環境美化意識の向上に取り組むとともに、歩行者が安全に通行できる環境づくりにも取り組む必要がある。

## 戦略の進捗状況を踏まえた経営課題全体としての評価結果の総括

#### (防災のまちづくり)

区民の防災意識は向上しているものの、実際に日ごろの災害への備えができていない割合は高いとは言えない。子どもからお年寄りまで幅広い世代への効果的な啓発の取組を進める。

#### (防犯のまちづくり)

警察と連携した防犯啓発活動を継続して実施しているものの、区民の防犯意識は依然として高いとは言えない。引き続き、多くの区民が集まる場をとらえ効果的な啓発等の取組を進める。

#### (人に優しいまちづくり)

ボランティア清掃活動やごみのポイ捨てなどのマナー啓発の取り組みを推進したことなどにより、区民の環境美化意識の向上に寄与していると考えているが、京橋地域の路上喫煙禁止地区の啓発においては、アンケート結果を踏まえ、更なる制度周知と喫煙マナーの向上に向け、効果的な啓発活動等に取り組んでいく。

※本運営方針内で「区民の割合」と表記している箇所については、都島区民アンケートにて回答した区民の割合を言う。



## 1-1 防災のまちづくり

めざす状態 <概ね3～5年間を念頭に設定>	戦略<中期的な取組の方向性>				戦略の 進捗状況	戦略のアウト カムに対する 有効性	課題
区民が自助・共助の役割を認識し、日ごろから災害への備えができています	地域、行政、関係機関と連携した訓練や出前講座等の実施を通じて、防災意識の向上を図る。また、防災・減災について、日ごろの備えの必要性を広めるとともに、災害時の避難行動につなげる。				順調	有効であり、 継続して推 進	—
	<b>アウトカム(成果)指標&lt;めざす状態を数値化した指標&gt;</b>						今後の対応方向
	日頃から防災・減災を意識している区民の割合 3年度までに81%以上	80%	82%	個別 評価	順調		—
	食料の備蓄や家具の固定、家族との連絡方法の確認など、災害への備えができています区民の割合 3年度までに67%以上	66%	70%	全体 評価	順調		—
	災害が起きた時に避難する場所を知っている区民の割合 3年度までに80%以上	77%	82%		順調		

### 具体的取組1-1-1 自助の取組の推進

H30決算額	457千円	元予算額	524千円	R2予算額	1,976千円
<b>取り組むこと</b>					
区民の防災意識の醸成を図るため、幅広い世代への啓発を行う。					
計画(取組内容)	中間振り返り	年度末(取組実績)			
① 広報みやこじま(区内全戸配付)を活用した防災マップ等による周知 年3回以上 ② 出前講座での啓発の実施 年3回 ③ マンション自治会等への啓発 年1回 ④ 子育て世帯への啓発 年1回 ⑤ 災害への備え(自助)や地域での助け合い(共助)などSNSを活用した啓発 年5回以上 【改定履歴あり】	(当初計画) 取組は予定どおり進捗していない	(改定計画) 取組は予定どおり実施しなかった  ①②③⑤計画どおり実施 ④新型コロナウイルスの影響により未実施			
プロセス(過程)指標 <取組によりめざす指標>	中間振り返り	達成状況			
防災マップや区広報誌の防災特集などの啓発により、日ごろからの備えが必要であると感じる区民の割合 60%以上 【撤退・再構築基準】50%未満 【改定履歴あり】	(当初指標) 目標未達成 見込	(改定指標) 目標達成 (94%)			
戦略に対する取組の有効性	課題と改善策				
中間 (当初指標)未測定	当初の取組の有効性は認められるが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、防災イベントなどの啓発は実施できていない。今後は3年度に向けた調整やSNSによる啓発に取り組む。				
年度末 (改定指標)有効	—				
<b>前年度までの実績</b>					
元年度実績 ・ 広報みやこじまを活用した防災マニュアル等の周知 2回 ・ 出前講座及び地域イベント等での啓発 22回 ・ マンション自治会等への啓発 4回 ・ 土曜授業での小中学生等への啓発 6回 ・ 子育て世帯への啓発 1回					

### 具体的取組1-1-2 共助の取組の推進

H30決算額	905千円	元予算額	508千円	R2予算額	1,377千円
<b>取り組むこと</b>					
地域等が実施する防災訓練の支援や、地域防災リーダーの知識向上に取り組む。					
計画(取組内容)	中間振り返り	年度末(取組実績)			
① 地域、行政、関係機関と連携した防災訓練の実施 1回 ② 地域防災リーダー研修の実施 1回以上 ③ 地域主体の防災訓練や出前講座への支援 9地域 ④ マンション等防災組織への支援 1回 ⑤ 大規模災害時協力事業所、津波避難ビル等の連携にかかる区内企業・事業者への協力要請 2事業所 【改定履歴あり】	取組は予定どおり進捗	(改定計画) 取組は予定どおり実施しなかった  ①新型コロナウイルスの影響により未実施 ②③④⑤計画どおり実施			
プロセス(過程)指標 <取組によりめざす指標>	中間振り返り	達成状況			
地域防災訓練の支援や出前講座の取組が、意識が高まったと感じる参加者の割合 70%以上 【撤退・再構築基準】50%未満 【改定履歴あり】	(当初指標) 目標未達成 見込	(改定指標) 目標達成 (93%)			
戦略に対する取組の有効性	課題と改善策				
中間 (当初指標)未測定	当初の取組の有効性は認められるが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、地域主体の防災訓練が実施できていないため、プロセス指標を改訂し、計画どおり共助の取組を推進する。				
年度末 (改定指標)有効	—				
<b>前年度までの実績</b>					
元年度実績 ・ 地域防災リーダー研修 4回 ・ 地域主体の防災訓練への支援 6回 ・ マンション等防災組織への支援 1回 ・ 大規模災害時協力事業所登録 1事業所					





## 1-2 防犯のまちづくり

めざす状態 ＜概ね3～5年を念頭に設定＞	戦略＜中期的な取組の方向性＞				戦略の進捗状況	戦略のアウトカムに対する有効性	課題								
街頭における犯罪を防止し、犯罪に巻き込まれない安全で安心なまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>警察等の関係機関と連携し、地域の防犯力の向上に向けた取組を進めるとともに、青色防犯パトロールによる巡回など区民が安全で安心して暮らせるまちづくりの実現に向け、防犯啓発等に取り組む。</li> </ul>				順調	有効であり、継続して推進	—								
	<b>アウトカム(成果)指標＜めざす状態を数値化した指標＞</b>				<table border="1"> <thead> <tr> <th>前年度</th> <th>今年度</th> <th>個別評価</th> <th>全体評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>81%</td> <td>83%</td> <td>順調</td> <td>順調</td> </tr> </tbody> </table>		前年度	今年度	個別評価	全体評価	81%	83%	順調	順調	今後の対応方向
前年度	今年度	個別評価	全体評価												
81%	83%	順調	順調												
	地域住民への防犯啓発の取組が、地域の安全や区民の防犯意識の向上につながっていると感じる区民の割合 3年度までに82%以上														

### 具体的取組1-2-1 警察等と連携した防犯活動

H30決算額	2,510千円	元予算額	3,891千円	R2予算額	4,260千円
取り組むこと					
警察等の関係機関、地域団体等と連携した防犯啓発に取り組む。					
計画(取組内容)	中間振り返り	年度末(取組実績)			
①出前講座等での防犯啓発 年1回 ②高齢者に向けた特殊詐欺防止啓発 年1回 ③子どもの見守り等防犯カメラ設置9台及び設置補助3台 ④防犯情報や犯罪発生情報などSNSを活用した情報発信・啓発 年5回以上 【改定履歴あり】	(当初計画)取組は予定どおり進捗していない	(改定計画)取組は予定どおり実施 ①1回、②1回、③計画どおり実施(設置補助については、申請なし) ④31回			
プロセス(過程)指標 ＜取組によりめざす指標＞	中間振り返り	達成状況			
区広報誌やSNS、青パトのアナウンスなどの情報発信による取組が、防犯意識の向上につながっていると感じる区民の割合 60%以上 【撤退・再構築基準】30%未満 【改定履歴あり】	(当初指標)目標未達成見込	(改定指標)目標達成(83%)			
戦略に対する取組の有効性		課題と改善策			
中間	(当初指標)未測定	当初の取組の有効性は認められるが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、出前講座や警察と連携した取組はできていない。今後は3年度に向けた調整やSNSによる啓発に取り組む。			
年度末	(改定指標)有効	—			
前年度までの実績					
元年度実績 ・防犯キャンペーン 21回 ・出前講座 5回 ・防犯教室 3回 ・特殊詐欺防止啓発 10回 ・防犯カメラ設置補助 3台					

### 具体的取組1-2-2 交通マナーアップの啓発

H30決算額	18千円	元予算額	66千円	R2予算額	20千円
取り組むこと					
交通事故防止、特に高齢者の事故防止や自転車マナーアップをめざし、警察等の関係機関と連携し、地域と協働して交通ルール及びマナーの啓発活動に取り組む。					
計画(取組内容)	中間振り返り	年度末(取組実績)			
①地域と連携した自転車マナーアップ啓発 年10回以上 ②高齢者の事故防止や自転車マナーアップなどSNSを活用した啓発 年5回以上 【改定履歴あり】	(当初計画)取組は予定どおり進捗していない	(改定計画)取組は予定どおり実施 ①15回 ②5回			
プロセス(過程)指標 ＜取組によりめざす指標＞	中間振り返り	達成状況			
交通安全教室や街頭啓発、自転車マナーアップ啓発等の取組が交通事故防止につながっていると感じる区民の割合 60%以上 【撤退・再構築基準】30%未満 【改定履歴あり】	(当初指標)目標未達成見込	(改定指標)目標達成(64%)			
戦略に対する取組の有効性		課題と改善策			
中間	(当初指標)未測定	当初の取組の有効性は認められるが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、交通安全教室や市民協働型の啓発が実施できていない。今後は3年度に向けた調整やSNSによるマナー啓発に取り組む。			
年度末	(改定指標)有効	—			
前年度までの実績					
元年度実績 ・交通安全教室の実施 7回 ・警察等と連携した交通安全街頭啓発 6回 ・地域及び警察と連携した自転車マナーアップ啓発 4回					

1-3 人に優しいまちづくり

めざす状態 <概ね3～5年間を念頭に設定>	戦略<中期的な取組の方向性>				戦略の進捗状況	戦略のアウトカムに対する有効性	課題								
区民の環境美化意識が向上し、路上喫煙やポイ捨てごみの減少による美しいまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>清掃ボランティア活動への参加など区民の環境美化意識の向上を図るとともに、歩行者が安全に通行できる環境づくりに取り組む。</li> <li>京橋地域の「路上喫煙禁止地区」における喫煙マナーの向上に向けた啓発活動に取り組む。</li> </ul>				順調	有効であり、継続して推進	—								
	<b>アウトカム(成果)指標&lt;めざす状態を数値化した指標&gt;</b>				<table border="1"> <thead> <tr> <th>前年度</th> <th>今年度</th> <th>個別評価</th> <th>全体評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>61%</td> <td>67%</td> <td>順調</td> <td>順調</td> </tr> </tbody> </table>		前年度	今年度	個別評価	全体評価	61%	67%	順調	順調	今後の対応方向
前年度	今年度	個別評価	全体評価												
61%	67%	順調	順調												
	路上喫煙禁止地区(京橋地域)で地域住民への喫煙マナー啓発などの取組が美しいまちづくりにつながっていると感じる区民の割合 3年度までに 62%以上						—								

### 具体的取組1-3-1 環境美化の推進

H30決算額	123千円	元予算額	238千円	R2予算額	169千円
<b>取り組むこと</b>					
地域、企業、商店会等と協働し、区内のボランティア清掃活動を推進するとともに、環境美化意識の醸成を図るための啓発活動に取り組む。					
計画(取組内容)	中間振り返り	年度末(取組実績)			
①市民協働型のボランティア清掃活動 年10回以上 ②区民の環境美化意識を高めるためSNSを活用した啓発 年5回以上 【改定履歴あり】	(当初計画) 取組は予定どおり進捗していない	(改定計画) 取組は予定どおり実施 ①10回 ②10回			
プロセス(過程)指標 <取組によりめざす指標>	中間振り返り	達成状況			
ボランティア清掃等の活動が環境美化意識の醸成につながると感じる区民の割合 60%以上 【撤退・再構築基準】30%未満 【改定履歴あり】	(当初指標) 目標未達成 見込	(改定指標) 目標達成 (84%)			
戦略に対する取組の有効性		課題と改善策			
中間	(当初指標) 未測定	当初の取組の有効性は認められるが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、環境美化イベント等が実施できていない。今後は感染症対策を取りながら規模を縮小した環境美化活動やSNSによるマナー啓発に取り組む。			
年度末	(改定指標) 有効	—			
<b>前年度までの実績</b>					
元年度実績					
<ul style="list-style-type: none"> <li>区内一斉清掃活動「都島クリーン作戦」 2回</li> <li>未来わがまちビジョン推進会議実施の、毛馬桜之宮公園内を清掃する「大川かたづけ隊」清掃活動 11回</li> <li>京橋地域の安全なまちづくり連絡協議会によるマナー啓発活動 19回</li> <li>ゆめまちロードOSAKA 1回</li> </ul>					

### 具体的取組1-3-2 路上喫煙禁止地区の啓発

H30決算額	1,712千円	元予算額	1,781千円	R2予算額	1,838千円
<b>取り組むこと</b>					
京橋地域の「路上喫煙禁止地区」の制度周知や路上喫煙ポイ捨て防止など喫煙者マナー向上に向けた啓発活動に取り組む。					
計画(取組内容)	中間振り返り	年度末(取組実績)			
①市民協働型の路上喫煙禁止の啓発活動 6回 ②区役所内電子掲示板へエリアマップ等の掲載 通年 ③喫煙者のマナー啓発ポスターを作成し、路上喫煙禁止地区に掲示 1回	取組は予定どおり進捗	(改定計画) 取組は予定どおり実施 ①6回 ②計画どおり実施 ③1回			
プロセス(過程)指標 <取組によりめざす指標>	中間振り返り	達成状況			
京橋地域の「路上喫煙禁止地区」が区民に浸透したとを感じる区民の割合 60%以上 【撤退・再構築基準】30%未満 【改定履歴あり】	(当初指標) 目標未達成 見込	(改定指標) 目標達成 (62%)			
戦略に対する取組の有効性		課題と改善策			
中間	(当初指標) 未測定	当初の取組の有効性は認められるが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により指標にしている環境浄化イベントを実施できていないためプロセス指標を改訂し計画どおり喫煙者マナー向上に向けた啓発に取り組む。			
年度末	(改定指標) 有効	—			
<b>前年度までの実績</b>					
元年度実績					
<ul style="list-style-type: none"> <li>市民協働型の路上喫煙禁止の啓発活動 6回</li> <li>区役所電子掲示板へエリアマップ等の掲載 通年</li> </ul>					

経営課題2 人と人がつながり、助け合うまちづくり



### コミュニティ豊かなまちづくり

**めざすべき将来像**  
最終的なめざす状態<概ね10~20年間を念頭に設定>

これまで培われてきた人と人との「つながり」や「きずな」を礎にしながら、若い世代やマンション住民など、より幅広く人と人がつながり、身近な地域の中で生活課題の解決に取り組むなど、地域コミュニティが活性している状態

**現状** <課題設定の根拠となる現状・データ>

**身近な地域でつながりに関して肯定的に感じている区民の割合**

H28	42%
H29	42%
H30	39%

(30年度区民アンケート)

**地域課題解決の取組が自律的に進められていると感じる区民の割合**

**28%**

(30年度区民アンケート)

**要因分析**  
<めざすべき将来像と現状に差が生じる要因の分析結果>

- 個人の生活様式や価値観の多様化により、人と人とのつながりの希薄化が進んでいる。
- 担い手・参加者が固定化しており、従来型の画一的な地域活動が行われている。

**課題** <上記要因を解消するために必要なこと>

- これまで地域と関わりが少なかった若い世代やマンション住民をはじめ、人と人がつながる機会の提供が必要である。
- 地域課題に対応した活動の実施に向けた支援などを行い、より多くの住民参加による自律的な地域運営の実現をめざすことが必要である。

### いきいきと健康に暮らせる福祉のまちづくり(健康・福祉)

**めざすべき将来像**  
最終的なめざす状態<概ね10~20年間を念頭に設定>

- 身近なところに福祉の相談窓口があり、気兼ねなく利用できる状態
- 区民がいきいきと健康で生活することができる状態

**現状** <課題設定の根拠となる現状・データ>

**地域福祉コーディネーターによる相談・訪問等活動件数**

H27	5,544件
H28	10,052件
H29	9,154件
H30	9,025件

**要因分析**  
<めざすべき将来像と現状に差が生じる要因の分析結果>

- 地域コミュニティの希薄化を背景に、年々、課題が複雑化・多様化・深刻化している。支援機関の窓口が多岐にわたることが多く、支援につながらず、地域で埋もれている要援護者は多数いると考えられる。

**課題** <上記要因を解消するために必要なこと>

- 複雑化・多様化・深刻化する課題に対応するため、関係機関等と連携し、必要な支援をコーディネートする体制が必要である。

### いきいきと健康に暮らせる福祉のまちづくり(子育て支援)

**めざすべき将来像**  
最終的なめざす状態<概ね10~20年間を念頭に設定>

- 母乳・授乳や育児について相談しやすい環境が整い、育児不安が解消され、いきいきと健康に暮らせる状態
- 子育て世代の保護者が、身近なところから支援を受け、子育てを楽しんでいることができる状態

**現状** <課題設定の根拠となる現状・データ>

**「子育て支援室」を知っている区民の割合**

**32%**

(元年度区民アンケート)

**保護者へのアンケート**  
子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人がいない

都島区	10.7%
市平均	8.9%

**要因分析**  
<めざすべき将来像と現状に差が生じる要因の分析結果>

- 子育てに不安を感じる保護者が、相談できる場所が分からず地域で孤立する傾向にある。
- 当区における不登校の要因は、貧困を含む家庭基盤の脆弱さやいじめ等様々であり、複雑化している。

**課題** <上記要因を解消するために必要なこと>

- 子育てをしている保護者の孤立を防ぎ、子育ての負担感・不安感を軽減するため、地域の子育て情報を周知するとともに、虐待相談を含む相談窓口を拡充する必要がある。
- 貧困を含む家庭基盤の脆弱さ等を起因とする不登校については、学校だけの対応では解決が困難である。

戦略の進捗状況を踏まえた経営課題全体としての評価結果の総括

(コミュニティ豊かなまちづくり)  
新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、区民まつりの中止や地域活動の中止・延期など当初の予定どおりに取組を進めることが難しい状況であったが、区広報誌や区Facebookで地域活動の情報発信を行うことにより、地域住民の地域活動への理解促進に努めた。また、地域活動協議会の活動については自律的な取組が着実に進められるよう感染防止の留意点や補助金の取扱いなど様々な情報提供や食事サービス事業などの再開時における相談・助言などの支援を行った。

引き続き感染症対策を実施しながら地域活動を通じた人と人とのつながりの機会の提供のあり方などの検討を進めるとともに、地域活動に関わりの薄い住民の参加促進や第一層支援などを行うことでコミュニティ豊かなまちづくりに向けた取組を進めていく。

(いきいきと健康に暮らせる福祉のまちづくり：健康・福祉)  
地域福祉コーディネーターについては、地域の見守り活動があることによって、安心して暮らし続けられると回答した区民の割合が目標に到達しなかった。引き続き、「身近な相談窓口」のみならず、地域の見守り活動の拠点として、地域福祉コーディネーターが調整役となって見守り活動を行っていることをアピールしていきたい。

(いきいきと健康に暮らせる福祉のまちづくり：子育て支援)  
地域の子育て情報の周知や相談窓口の拡充を行い業績目標は達成しているが、子育ての負担感・不安感は子どもの成長とともに増加しているため、引き続きの取組が必要である。

貧困を含む家庭基盤の脆弱さ等を起因とする不登校については、学校だけでは対応しきれないので、こどもサポートネットと協力をしながら、児童・生徒の困難さを解決していく取組が必要である。



## 2-1 コミュニティ豊かなまちづくり

めざす状態 ＜概ね3～5年間を念頭に設定＞	戦略＜中期的な取組の方向性＞	戦略の進捗状況	戦略のアウトカムに対する有効性	課題												
<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な地域で、「声かけ」、「見守り」、「助け合い」、「支え合い」を実感できる状態</li> <li>防災、防犯など安心・安全なまちづくりにかかる取組及び地域福祉、子育て支援、地域コミュニティづくりなどその他地域特性に即した地域課題の解決に向けた取組が自律的に進められている状態</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>イベント開催などにより、これまで地域との関わりが少なかった若い世代やマンション住民も参加する、人と人がつながる機会を提供する。</li> <li>地活協のめざすべき姿に向けて、地域の实情に即した効果的な支援を行い、より多くの住民参加による自律的な地域運営を実現をめざす。</li> </ul>	順調	有効であり、継続して推進	-												
				<b>アウトカム(成果)指標＜めざす状態を数値化した指標＞</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>前年度</th> <th>今年度</th> <th>個別評価</th> <th>全体評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>身近な地域でつながりに関して肯定的に感じる区民の割合 3年度までに47%以上</td> <td>41%</td> <td>47%</td> <td>順調</td> <td>順調</td> </tr> <tr> <td>地活協の構成団体が、地域特性に即した地域課題の解決に向けた取組が自律的に進められている状態にあると思う割合 5年度までに90%以上</td> <td>76%</td> <td>87%</td> <td>順調</td> <td>順調</td> </tr> </tbody> </table>		前年度	今年度	個別評価	全体評価	身近な地域でつながりに関して肯定的に感じる区民の割合 3年度までに47%以上	41%	47%	順調	順調	地活協の構成団体が、地域特性に即した地域課題の解決に向けた取組が自律的に進められている状態にあると思う割合 5年度までに90%以上	76%
	前年度	今年度	個別評価	全体評価												
身近な地域でつながりに関して肯定的に感じる区民の割合 3年度までに47%以上	41%	47%	順調	順調												
地活協の構成団体が、地域特性に即した地域課題の解決に向けた取組が自律的に進められている状態にあると思う割合 5年度までに90%以上	76%	87%	順調	順調												
				-												

### 具体的取組2-1-1 地域コミュニティの推進

H30決算額	7,782千円	元予算額	8,071千円	R2予算額	8,333千円
<b>取り組むこと</b>					
区民まつりを区民参画型で開催し、区民が企画、運営、広報などを主体的に行えるよう実行委員会を支援することで、人材育成、交流促進、コミュニティ育成につなげる。					
<b>計画(取組内容)</b>		<b>中間振り返り</b>	<b>年度末(取組実績)</b>		
区民まつり 1回 9月 ・新規参画者拡大の促進 ・住民間交流の促進		取組は予定どおり進捗していない	取組は予定どおり実施しなかった		
<b>プロセス(過程)指標</b> ＜取組によりめざす指標＞		<b>中間振り返り</b>	<b>達成状況</b>		
地域とつながる機会となったと感じる参加者の割合 77%以上 【撤退・再構築基準】40%未満		目標未達成見込	未測定		
<b>戦略に対する取組の有効性</b>		<b>課題と改善策</b>			
中間	(当初指標) 未測定	戦略に対する取組は有効であるが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、区民まつりの開催が中止となった。今後は3年度に向けた調整を行う。			
年度末	(当初指標) 未測定	コロナ禍においても、感染症対策を実施しながら地域活動を通じた人と人とのつながりの機会の提供のあり方などを検討し、地域コミュニティの推進につなげる。			
<b>前年度までの実績</b>					
元年度実績 ・区民まつり(9月) 参加者数約32,000人、参画者2,002人					

### 具体的取組2-1-2 地域活動協議会による自律的な地域運営の促進(改革の柱4-1)

H30決算額	34,828千円	元予算額	37,385千円	R2予算額	40,677千円
<b>取り組むこと</b>					
地域活動協議会の活動を効果的に支援し、より多くの住民参加による自律的な地域運営の実現をめざす。					
<b>計画(取組内容)</b>		<b>中間振り返り</b>	<b>年度末(取組実績)</b>		
①地域活動協議会補助金の交付による財政的支援 9地域 ②中間支援組織による活動の支援 通年 ・地域カルテ活用等、实情に即した活動の促進 ・地域活動に関わりの薄い住民の参加促進 ・多様な活動主体との連携協働の促進 ・組織運営の基本的事項の定着		取組は予定どおり進捗	取組は予定どおり実施 ①9地域 ②計画どおり実施		
<b>プロセス(過程)指標</b> ＜取組によりめざす指標＞		<b>中間振り返り</b>	<b>達成状況</b>		
地域活動協議会の構成団体が自分の地域に即した支援を受けることができていると感じた割合 86%以上 【撤退・再構築基準】50%未満		目標達成見込	目標達成(86%)		
<b>戦略に対する取組の有効性</b>		<b>課題と改善策</b>			
中間	有効	-			
年度末	有効	-			
<b>前年度までの実績</b>					
元年度実績 ・地域活動協議会補助金の交付 9地域 ・中間支援組織による活動の支援 地域課題やニーズに対応した活動の実施に向けた支援 多様な活動主体の連携・協働に向けた支援 会計事務や組織運営の適正化に向けた支援					



## 2-2 いきいきと健康に暮らせる福祉のまちづくり(福祉・健康)

めざす状態 <概ね3～5年間を念頭に設定>	戦略<中期的な取組の方向性>	戦略の進捗状況	戦略のアウトカムに対する有効性	課題													
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域において見守り活動が効果的に行われ、見守りにより安心して生活ができると感じられる状態</li> <li>母乳育児等に関する育児不安が軽減され、親子の健全な絆が育まれるとともに子どもの安らかな発達が促進される状態</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>見守り活動が自主的に行われる体制づくりを支援するとともに、見守り活動が円滑に進むよう支援体制を整備する。</li> <li>ワーキングマザーなど様々なライフスタイルに応じた支援体制や、身近な授乳や子育ての相談体制を整備する。</li> </ul>	順調	有効であり、継続して推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルスの影響による、見守りの場の減少。</li> </ul>													
	<b>アウトカム(成果)指標&lt;めざす状態を数値化した指標&gt;</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>前年度</th> <th>今年度</th> <th>個別評価</th> <th>全体評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域の見守り活動があることによって、安心して暮らし続けられると回答した区民の割合 3年度までに 70%以上</td> <td>50%</td> <td>49%</td> <td>順調でない</td> <td>順調</td> </tr> <tr> <td>3か月健診時に、多くの不安を感じることなく過ごせていると回答した母親の割合 3年度までに 94%以上</td> <td>93%</td> <td>93%</td> <td>順調</td> <td>順調</td> </tr> </tbody> </table>			前年度	今年度	個別評価	全体評価	地域の見守り活動があることによって、安心して暮らし続けられると回答した区民の割合 3年度までに 70%以上	50%	49%	順調でない	順調	3か月健診時に、多くの不安を感じることなく過ごせていると回答した母親の割合 3年度までに 94%以上	93%	93%	順調	順調
	前年度	今年度	個別評価	全体評価													
地域の見守り活動があることによって、安心して暮らし続けられると回答した区民の割合 3年度までに 70%以上	50%	49%	順調でない	順調													
3か月健診時に、多くの不安を感じることなく過ごせていると回答した母親の割合 3年度までに 94%以上	93%	93%	順調	順調													

### 具体的取組2-2-1 地域福祉コーディネーターによる福祉相談の充実や見守り体制の強化

H30決算額	13,347千円	元予算額	13,011千円	R2予算額	10,869千円
<b>取り組むこと</b>					
地域の身近な相談窓口、関係機関とのつなぎ役や制度の狭間に埋もれている人を発見する機能のほか、地域の見守りの中心となり、「要援護者の見守りネットワーク強化事業」の名簿を活用し、見守りの体制を強化する。					
計画(取組内容)	中間振り返り	年度末(取組実績)			
地域福祉コーディネーター ①9地域10名 ②訪問・相談等 年間240日 ③要援護者名簿の管理や整備、見守りの担い手の支援等 ④活動時間 1日あたり4時間	取組は予定どおり進捗	取組は予定どおり実施  ①9地域10名 ②年間240日 ③④計画どおり実施			
プロセス(過程)指標 <取組によりめざす指標>	中間振り返り	達成状況			
地域福祉コーディネーターによる見守り活動件数 年間13,000件以上 【撤退・再構築基準】8,500件以下	目標未達成見込	未測定			
戦略に対する取組の有効性	課題と改善策				
(当初指標) 未測定	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、食事サービス等が中止となり、見守りの場が減少している。今後は、感染予防対策を講じたうえで、電話や訪問を中心とした活動を行う。				
(当初指標) 未測定	取組は有効であるが、上記理由により、当初見込んでいた活動内容から変更せざるを得ない状況となった。次年度は、コロナ禍を見込んだ指標の設定を行う。				
前年度までの実績					
29～元年度実績の平均					
・地域福祉コーディネーターによる見守り件数 16,025件					

### 具体的取組2-2-2 妊娠期からの親子のきずなはぐくみ支援

H30決算額	603千円	元予算額	716千円	R2予算額	750千円
<b>取り組むこと</b>					
就労妊婦や多胎妊婦が不安なく出産・育児が行えるよう支援するとともに、産後の授乳や子育てについて相談しやすいよう身近な地域等で講座や教室を行う。					
計画(取組内容)	中間振り返り	年度末(取組実績)			
①プレワーキングマザー対象出産直前講座 5回(土曜日午前) ②母乳子育て教室 概ね毎月3回25回程度 ③ふたごちゃん・みつごちゃんのプレパパプレママ教室 2回 【改定履歴あり】	(当初計画) 取組は予定どおり進捗していない	(改定計画) 取組は予定どおり実施  ①5回 106名 ②25回 288名 ③2回 17名			
プロセス(過程)指標 <取組によりめざす指標>	中間振り返り	達成状況			
育児に関して役に立ったと回答した参加者の割合 80%以上 【撤退・再構築基準】50%未満	目標達成見込	目標達成(98%)			
戦略に対する取組の有効性	課題と改善策				
有効	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月～6月に事業を中止したが、以降拡大防止策をとった上で実施。				
有効	緊急事態宣言発出等により急速事業を中止する可能性がある。感染防止対策を行い可能な限り事業を実施していく。				
前年度までの実績					
元年度実績					
プレワーキングマザー対象出産直前講座 5回 156名					
母乳子育て教室 28回304名					
ふたごちゃん・みつごちゃんのプレパパプレママ教室 2回10名					

## 2-3 いきいきと健康に暮らせる福祉のまちづくり(子育て支援)

めざす状態 ＜概ね3～5年間を念頭に設定＞	戦略＜中期的な取組の方向性＞	戦略の進捗状況	戦略のアウトカムに対する有効性	課題					
<ul style="list-style-type: none"> <li>身近なところに乳幼児期の子育てについての相談窓口があり、いつでも気兼ねなく利用できる状態</li> <li>保護者が、学齢期の子育てに不安を感じた時、すぐに相談できる状態</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育てに不安を持つ保護者等が気軽に相談できるよう、身近なところで子育て相談等を実施するなど、子育て支援を推進する。</li> <li>不登校等の要因を顕在化させ、家庭的な要因等に社会的資源やネットワークを活用して対応する。</li> </ul>	順調	有効であり、継続して推進	—					
				<b>アウトカム(成果)指標＜めざす状態を数値化した指標＞</b>	前年度	今年度	個別評価	全体評価	今後の対応方向
				子育てに不安を感じたときに相談するところがあると回答した区民の割合 3年度までに76%以上 児童生徒に関する課題解決のための相談先としてスクールソーシャルワーカーが有効に機能していると回答した学校の割合 3年度までに60%以上	75%	98%	順調	順調	—

### 具体的取組2-3-1 子育て相談体制の充実

H30決算額	3,160千円	元予算額	3,312千円	R2予算額	12,972千円
取り組むこと					
子育ての不安感や負担感を軽減するため、様々な機会をとらえて相談できる窓口等を周知し、精神保健福祉士等の有資格者が専門性を活かし、相談に応じる。					
計画(取組内容)	中間振り返り	年度末(取組実績)			
健診や関係機関訪問等での子育て支援室の周知 50回以上	取組は予定どおり進捗	取組は予定どおり実施 61回			
プロセス(過程)指標 ＜取組によりめざす指標＞	中間振り返り	達成状況			
子育て支援室での相談件数 500件以上 【撤退・再構築基準】250件未満	目標達成見込	目標達成(771件)			
戦略に対する取組の有効性		課題と改善策			
中間	有効	—			
年度末	有効	—			
前年度までの実績					
元年度実績 ・健診や関係機関訪問時と子育て支援室での子育て相談件数 638件					

### 具体的取組2-3-2 SSW(スクールソーシャルワーカー)による相談支援体制の強化

H30決算額	3,488千円	元予算額	3,448千円	R2予算額	3,455千円
取り組むこと					
不登校等の課題解決に向けて、SSW1名を子育て支援室に配置し、こどもサポートネットと連携して区内各校を巡回訪問し、解決を図る。					
計画(取組内容)	中間振り返り	年度末(取組実績)			
SSW ・区内小・中学校等対応 ・巡回訪問等 132日	取組は予定どおり進捗	取組は予定どおり実施しなかった 63日(9月まで)			
プロセス(過程)指標 ＜取組によりめざす指標＞	中間振り返り	達成状況			
SSWが対応したケース 60件以上 【撤退・再構築基準】30件以下	目標達成見込	目標未達成(56件・9月まで)			
戦略に対する取組の有効性		課題と改善策			
中間	有効	—			
年度末	有効	SSWが9月で退職し、再募集をかけたが採用に至らず、年度末の目標は未達成となったが、学校からは有効だと評価いただいている。			
前年度までの実績					
元年度実績 ・SSWが対応したケース 56件					



### 経営課題3 明日に誇れるまちづくり



#### 魅力あるまちづくり

##### めざすべき将来像

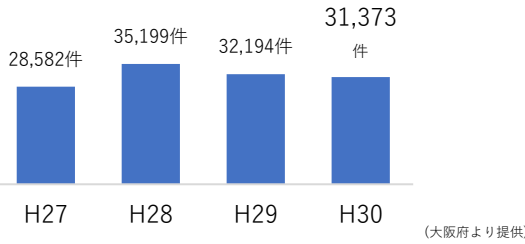
最終的なめざす状態<概ね10~20年間を念頭に設定>

まちの魅力が高まり、区民が誇りを持ち、住み続けたいと思うとともに、多くの人々が訪れたい、住みたいと思う状態

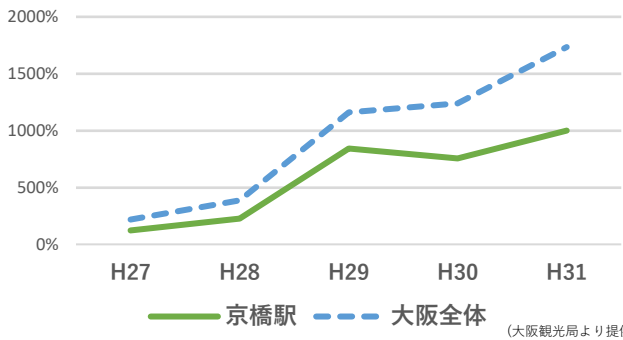
##### 現状 <課題設定の根拠となる現状・データ>

水辺を活かした新たな名所「大阪ふれあいの水辺」の利用者数など

##### 大阪ふれあいの水辺 利用者数



##### Osaka Free Wi-Fi 認証数増加率



##### 要因分析 <めざすべき将来像と現状に差が生じる要因の分析結果>

- 三方を川に囲まれた都島区の恵まれた自然環境、立地条件、歴史文化などの資源、京橋が有する主な観光地とのネットワークなどを十分に活かしてきていない。
- 区外、区内への情報発信が不足している。

##### 課題 <上記要因を解消するために必要なこと>

- 恵まれた地域資源を活かし、さらに魅力あるまちづくりにつなげるため、区民の気運を醸成し、民間活力を活かすための仕組みづくりやサポートが必要である。
- 京橋をはじめ、地域のにぎわいづくりの取組を支援するとともに、様々な方法での情報発信が必要である。

#### 未来の都島を担う人材育成

##### めざすべき将来像

最終的なめざす状態<概ね10~20年間を念頭に設定>

経済状況や家庭環境に左右されることなく、すべての子どもの可能性が最大限活かされる状態

##### 現状 <課題設定の根拠となる現状・データ>

「子どもの生活に関する実態調査」(28年度実施)

##### 保護者へのアンケート

子どもの学びや遊びをゆたかにする情報を  
教えてくれる人がいない

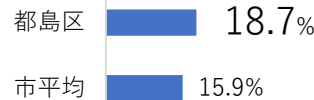


##### 小中学生へのアンケート

ふだん(月曜日~金曜日)の放課後、ひとりでいる



いやなことや悩んでいることがあるとき、  
誰にも相談したくない



「子どもの生活に関する実態調査」  
(28年度実施)

##### 要因分析 <めざすべき将来像と現状に差が生じる要因の分析結果>

- 保護者が、子どもの学び等の情報提供などの支援不足を感じている。
- 子どもを支える人や場が不足しており、学びや遊びを通じた子どもの成長の機会を保障する支援が必要。

##### 課題 <上記要因を解消するために必要なこと>

- 学校や家庭だけでなく、地域で子どもを支える場づくりなど、子どもが明るく健やかに成長できるよう、環境を整備する必要がある。
- 経済的な理由等で学習面での機会が少ない子どもに対する直接的な支援が必要である。

### 戦略の進捗状況を踏まえた経営課題全体としての評価結果の総括

#### (魅力あるまちづくり)

水辺のにぎわいづくりについては、新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から、水辺を利用したスポーツイベント等の開催が中止となったが、「大阪ふれあいの水辺」の利用者数は前年度を上回った。引き続き、動画を利用したPR活動等に取り組む。

区の魅力発信については、今年度から、区の魅力資源を紹介する「都島区写真旅動画」を作成し、積極的に動画共有サービスを用いた情報発信を行った。YouTubeの再生回数についても、前年度を大幅に上回り、目標達成に至った。また、区の歴史が学べる「まんが蕪村さんの都島歴史漫遊記」を増刷し、各地域や図書館へ配布するなど、アナログ面での情報発信も行った。

#### (未来の都島を担う人材育成)

教育力向上支援事業においては、小学校体育科授業へのスポーツトレーナー派遣による実技指導や、中学生対象の放課後課外授業、学習支援と悩み相談を行う「こどもの居場所」の開設など、学校内外での学習の機会・場の創出に取り組んだ。また、小学生の放課後学習支援においては、2校において補習学習会を実施し、学習習慣の定着や学力向上に取り組んだ。いずれの取組も参加者等から高い評価がなされ、目標値を達成することができた。



### 3-1 魅力あるまちづくり

めざす状態 <概ね3～5年間を念頭に設定>	戦略<中期的な取組の方向性>				戦略の進捗状況	戦略のアウトカムに対する有効性	課題		
<ul style="list-style-type: none"> <li>毛馬桜之宮公園を中心とした水辺、まちのにぎわいづくりの活動が民間主体により継続的に実施されている状態</li> <li>区民が区の歴史文化資源等を認識し、区に愛着を持っている状態</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関と連携・協働したイベントや情報発信による機運づくりにより、水辺のまちづくり、地域の活性化を進める。</li> <li>区の歴史文化資源の発信を行うとともに、区民が関心を持っている事業を展開する。</li> </ul>				順調	有効であり、継続して推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染拡大予防のため、水辺を活用したイベント等が中止となった。</li> </ul>		
	アウトカム(成果)指標<めざす状態を数値化した指標>				前年度		今年度	個別評価	全体評価
	民間主体による水辺を活用したにぎわいづくり事業の実施 3年度までに30件以上				15件		2件	順調でない	順調
区に愛着を感じる区民の割合 3年度までに89%				88%	91%	順調	順調	<b>今後の対応方向</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>水辺を活用したイベント等が中止となったが、動画共有サービスなどを活用し、引き続きにぎわいづくりに取り組む。</li> </ul>	

#### 具体的取組3-1-1 水辺のにぎわいづくり

H30決算額	9千円	元予算額	21千円	R2予算額	63千円
取り組むこと					
桜ノ宮ビーチの利用促進に向けたPR活動等を行うことで、水辺のにぎわいづくりなどを進め、魅力向上につなげる。【改定履歴あり】					
計画(取組内容)		中間振り返り	年度末(取組実績)		
①3年度の桜ノ宮ビーチでのスポーツイベントに向けた関係機関との協議 通年 ②インターネット等を利用したPR活動 通年 ③大阪府などと連携した民間団体によるイベントの側面支援 通年 【改定履歴あり】		(当初計画)取組は予定どおり進捗していない	(改定計画)取組は予定どおり実施 ①通年 ②YouTubeやデジタルサイネージでPR ③通年		
プロセス(過程)指標 <取組によりめざす指標>		中間振り返り	達成状況		
「大阪ふれあいの水辺」の利用者数 20,358人(前年度実績※)以上 ※緊急事態宣言期間(4/7~5/21、1/13~2/28)を除いた期間の実績と比較。【撤退・再構築基準】前年度の6割以下 【改定履歴あり】		(当初指標)目標未達成見込	(改定指標)目標達成(24,858人)		
戦略に対する取組の有効性		課題と改善策			
中間	(当初指標)未測定	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、スポーツイベント等の開催が中止となった。今後は、3年度に向けた調整や、水辺のPR活動に取り組む。			
年度末	(改定指標)有効	-			
前年度までの実績					
元年度実績					
<ul style="list-style-type: none"> <li>ビーチバレー大会の共催 9月</li> <li>「桜ノ宮ビーチフェスティバル」への協力 5月</li> </ul>					

#### 具体的取組3-1-2 区の魅力発信

H30決算額	258千円	元予算額	176千円	R2予算額	198千円
取り組むこと					
与謝蕪村・毛馬きゅうり等、区の歴史・文化などの魅力について、デジタル、アナログ両方を織り交ぜた効果的な情報発信を行う。					
計画(取組内容)		中間振り返り	年度末(取組実績)		
①区の歴史・文化などの魅力発信(動画の作成及び配信、SNSによる情報発信、リーフレット等の配布など) 通年 ②京橋等地域の活性化に取り組む関係者のコーディネート 通年		取組は予定どおり進捗	取組は予定どおり実施 ①通年 ②通年		
プロセス(過程)指標 <取組によりめざす指標>		中間振り返り	達成状況		
動画共有サービスによる動画の年間再生回数の前年度比10%増 【撤退・再構築基準】前年度の70%未満		目標達成見込	目標達成(652%)		
戦略に対する取組の有効性		課題と改善策			
中間	有効	-			
年度末	有効	-			
前年度までの実績					
元年度実績					
<ul style="list-style-type: none"> <li>YouTube動画発信(ビーチバレー、蕪村おどり、毛馬きゅうりなど)</li> <li>区役所デジタルサイネージにおいて動画コンテンツ放映</li> <li>「まちを育む~中学校吹奏楽・合唱力向上事業」中学生対象としたプロによる作品理解・技術指導 4校</li> </ul>					





### 3-2 未来の都島を担う人材育成

めざす状態 ＜概ね3～5年間を念頭に設定＞	戦略＜中期的な取組の方向性＞				戦略の 進捗状況	戦略のアウト カムに対する 有効性	課題		
<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもが、学力・体力を向上させ、明るく健やかに成長していく状態</li> <li>子どもが学校の授業以外で勉強する、学習習慣の定着した状態</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校内外で子どもが学力・体力向上に取り組めるよう支援する。</li> <li>経済的な理由等で学習面での機会が少ない子どもに対して、学習の機会を提供し、学習習慣の定着に向けて取り組む。</li> </ul>				順調	有効であり、継続して推進	－		
	<b>アウトカム(成果)指標＜めざす状態を数値化した指標＞</b>				前年度		今年度	個別評価	全体評価
	将来の夢や目標を持っていると回答する児童・生徒の割合 3年度までに75%以上				74%		未測定	順調	順調
	家で自分で計画を立てて勉強していると回答する児童・生徒の割合 3年度までに60%以上				56%	未測定	順調	順調	
							今後の対応方向 <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルスの影響により、令和2年度全国学力・学習状況調査が実施されず、指標について未測定となった。</li> <li>なお、H30実績は「将来の夢や目標を持っている」割合：77%、「家で自分で計画を立てて勉強している」割合：53%であり、同程度の水準で推移している。</li> </ul>		

#### 具体的取組3-2-1 教育力向上支援

H30決算額	5,025千円	元予算額	5,666千円	R2予算額	4,953千円
<b>取り組むこと</b>					
学校内外で子どもが学習や運動に積極的に取り組めるよう、授業への支援や学校外での学習の機会・場の創出を推進する。					
計画(取組内容)	中間振り返り	年度末(取組実績)			
①健やかな成長のための支援 ・トップアスリートやスポーツトレーナーによる実技指導、学力向上支援サポート(小学生対象)(通年) ・中学生課外授業(通年) ②学習環境支援 ・学習支援兼悩み相談場所を開設し、子どもたちの学習環境をサポートする(通年) ・市立幼稚園へ発達障がいサポーターによる発達障がいのある幼児の支援(通年)	取組は予定どおり進捗	取組は予定どおり実施			
プロセス(過程)指標 ＜取組によりめざす指標＞	中間振り返り	達成状況			
学力・体力向上支援で効果があったと回答する学校の割合60%以上 【撤退・再構築基準】40%未満	目標達成見込	目標達成(100%)			
戦略に対する取組の有効性		課題と改善策			
中間	有効	－			
年度末	有効	－			
前年度までの実績					
元年度実績 ・小学生運動能力向上支援事業： スポーツトレーナー9校・29回、トップアスリート8校・8回 ・民間事業者を活用した課外授業(みやこ塾)：参加登録した生徒数 73名 ・発達障がいサポート事業：1園8小2中、1,387時間					

#### 具体的取組3-2-2 小学生の放課後学習支援

H30決算額	-	元予算額	7,583千円	R2予算額	7,331千円
<b>取り組むこと</b>					
学習習慣の定着が十分でない児童を対象に、小学校の放課後に民間事業者による学習支援を行う。					
計画(取組内容)	中間振り返り	年度末(取組実績)			
小学校の放課後に学習支援を実施・2校(5～3月)	取組は予定どおり進捗	取組は予定どおり実施			
プロセス(過程)指標 ＜取組によりめざす指標＞	中間振り返り	達成状況			
学校の授業内容の理解が深まったと回答した参加児童の割合 60%以上 【撤退・再構築基準】40%未満 【改定履歴あり】	(当初目標) 目標未達成見込	(改定指標) 目標達成(77%)			
戦略に対する取組の有効性		課題と改善策			
中間	有効	－			
年度末	有効	－			
前年度までの実績					
元年度実績 ・2校において、3～6年生に算数、国語の補習を放課後に実施 ・登録数150名					

経営課題4 区役所力の強化



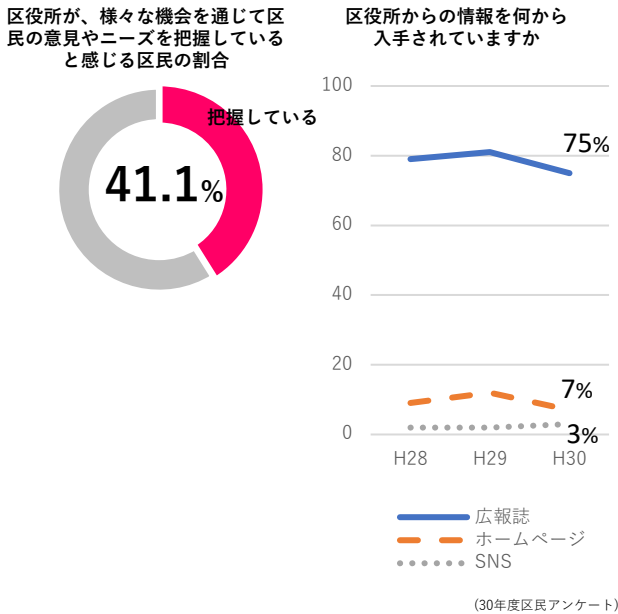
区民の声が区政に反映される  
仕組みづくり

めざすべき将来像

最終的なめざす状態<概ね10~20年間を念頭に設定>

- 多様な区民の意見やニーズを適切にとらえ、それらを踏まえた説明責任が果たされるよう区政に関する情報が区民全体に確実に届けられるとともに、施策や事務事業の企画・計画の段階から評価の段階に至る全てのプロセスにおいて区民の参画を得ながら、区の特長や地域実情に即した区政が運営される区民主体の自治が実現している状態
- 区役所が、区民に身近な総合行政の拠点として、信頼されている状態

現状 <課題設定の根拠となる現状・データ>



要因分析 <めざすべき将来像と現状に差が生じる要因の分析結果>

- インターネットやご意見箱等、様々な方法で区民の声を受け付けているが、行政へのアプローチに至らない、表面化しにくい意見を把握できていない可能性がある。
- 区政情報取得の手段として「広報誌」の定着はみられるが、情報発信をより進めていくためには、即時性に優れ更新回数に限りがないホームページやSNSの利用を高める必要がある。

課題 <上記要因を解消するために必要なこと>

- 区民の意見やニーズの的確な把握と、それを区政に活かすための仕組みが必要である。
- 行政や地域活動の情報を、読み手視点でわかりやすく、かつ対象に応じた提供が必要である。(情報発信ツールの検討等も含む)

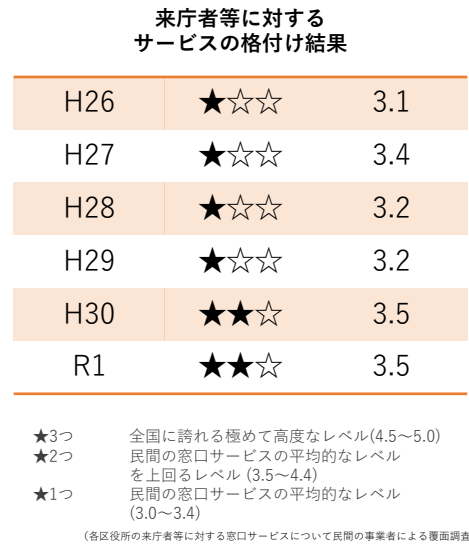
区民が満足・納得できる  
区役所運営

めざすべき将来像

最終的なめざす状態<概ね10~20年間を念頭に設定>

区役所が、区民をはじめ来庁者にとって快適で満足できる場所となるとともに、区役所業務の運営について、区民の視点から見て納得していただける状態

現状 <課題設定の根拠となる現状・データ>



要因分析 <めざすべき将来像と現状に差が生じる要因の分析結果>

- 継続的に研修を実施した結果、サービスレベルの向上につながり、☆2つ(民間の窓口サービスの平均的なレベルを上回るレベル)評価点平均3.5点を獲得したものの、評価点が3.5点を下回る窓口がある。
- 庁舎の狭隘や設備の老朽化があり、施設環境でのサービス向上余地は少ない。

課題 <上記要因を解消するために必要なこと>

- 窓口サービスの民間事業者の調査結果などを最大限活用した研修により、引き続き、職員の接遇スキル向上に取り組む必要がある。
- 施設環境の抜本的な改善が困難なことから、ソフト面を中心に来庁者の満足度向上を図る必要がある。

戦略の進捗状況を踏まえた経営課題全体としての評価結果の総括

(区民の声が区政に反映される仕組みづくり)  
 区政会議、区民アンケート、区長出前講座などを通じて、多様な区民意見やニーズの把握に取り組んだ結果、区民アンケートにおいて「自分の意見を区に伝える方法を知っている」と回答した区民の割合は過半数を超え、目標達成に至った。  
 また、広報誌の全戸配付、SNS等においてはLINE公式アカウントの運用を開始し、一定の効果を得られたが、目標には達しなかった。今後は、ターゲットに応じた媒体の活用を図り、幅広い世代に情報を届けられるよう取り組んでいく。  
 (区民が満足・納得できる区役所運営)  
 今年度、外部講師による接遇研修については、新型コロナウイルスの影響により実施できなかったが、「来庁者等に対する窓口サービスの格付」は、☆2つ(民間の窓口サービスの平均的なレベルを上回るレベル)を獲得した。また、3階トイレの改修工事を実施し環境整備の改善に努めた。引き続きサービスレベルの向上に取り組んでいく。

### 4-1 区民の声が区政に反映される仕組みづくり

めざす状態 <概ね3～5年間を念頭に設定>	戦略<中期的な取組の方向性>	戦略の進捗状況	戦略のアウトカムに対する有効性	課題												
<ul style="list-style-type: none"> <li>区民の意見やニーズを的確に把握し、関係局等と連携するなど、市政の総合拠点としての役割を担いつつ、施策・事業を展開できている状態</li> <li>区民に、区政運営等の情報を届け、理解が得られている状態</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策・事業の方向性に対する意見や、成果における評価を得られるよう、区民が参画できる取り組みを行う。</li> <li>すべての区民に行政サービスや地域活動の様子をわかりやすく提供するとともに、読み手視点に立った情報をタイムリーに発信する。</li> </ul>	順調でない	有効であり、継続して推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ関連情報は迅速に発信する必要があり、これまで以上に多様で即時性のある情報発信方法の検討が必要である。</li> </ul>												
<b>アウトカム(成果)指標&lt;めざす状態を数値化した指標&gt;</b>		<table border="1"> <thead> <tr> <th>前年度</th> <th>今年度</th> <th>個別評価</th> <th>全体評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>46%</td> <td>39%</td> <td>順調でない</td> <td>順調でない</td> </tr> <tr> <td>44%</td> <td>40%</td> <td>順調でない</td> <td>順調でない</td> </tr> </tbody> </table>		前年度	今年度	個別評価	全体評価	46%	39%	順調でない	順調でない	44%	40%	順調でない	順調でない	<b>今後の対応方向</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>LINE公式アカウントの運用をはじめ、SNS等の活用を強化し、情報発信や区民ニーズを把握する機会の充実を図る。</li> <li>より積極的に広報板を活用するなど、即時性の高い広報活動に取り組む。</li> </ul>
前年度	今年度	個別評価		全体評価												
46%	39%	順調でない	順調でない													
44%	40%	順調でない	順調でない													
区役所が、さまざまな機会を通じて区民の意見やニーズを把握していると感じる区民の割合 3年度までに47%以上	区役所が、さまざまな機会を通じて区民の意見やニーズを把握していると感じる区民の割合 3年度までに50%以上															

#### 具体的取組4-1-1 区民の意見やニーズの把握

H30決算額	1,248千円	元予算額	1,703千円	R2予算額	1,596千円
<b>取り組むこと</b>					
幅広い区民の方から区政運営の意見・評価を頂くため区政会議を開催する。また、多様な区民の意見やニーズを把握するため、区民アンケートを実施する。					
計画(取組内容)	中間振り返り	年度末(取組実績)			
①区政会議 ・全体会議 2回 ・専門部会 適宜 ②区民アンケート 2回 ③区長がグループ等を訪問する「区長と話そう!」の実施 通年 ④広聴・各種相談事業の実施 通年 ⑤区出前講座の実施 通年 【改定履歴あり】	(当初計画) 取組は予定どおり進捗していない	(改定計画) 取組は予定どおり実施 ① 全体会議2回、専門部会3回 ②2回 ③1回 ④68回 ⑤13回			
プロセス(過程)指標 <取組によりめざす指標>	中間振り返り	達成状況			
自分の意見を区に伝える方法を知っている区民の割合40%以上 【撤退・再構築基準】25%未滿	目標達成見込	目標達成(51%)			
戦略に対する取組の有効性	課題と改善策				
中間 有効	戦略に対する取組は有効であるが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、6月に予定していた全体会議が中止となった。				
年度末 有効	-				
<b>前年度までの実績</b>					
元年度実績 ・区政会議 全体会議 2回、専門部会 5回 ・地域担当制の実施 通年 ・「区長と話そう!」の実施 1回 ・広聴・各種相談事業の実施 通年 (103回) ・区出前講座の実施 通年 (50回)					

#### 具体的取組4-1-2 広報の強化

H30決算額	14,159千円	元予算額	19,910千円	R2予算額	21,942千円
<b>取り組むこと</b>					
広報誌を全戸配付し、区民にわかりやすい情報を提供する。また、ホームページやSNS等を活用して、行政情報をはじめ、地域活動の様子をタイムリーに発信する。					
計画(取組内容)	中間振り返り	年度末(取組実績)			
①広報誌の発行(20ページ建て) 全戸配付 12回 ②ホームページへの情報掲載 通年 ③SNSによる即時性をいかした情報発信 通年	取組は予定どおり進捗	①12回 ②③計画どおり実施			
プロセス(過程)指標 <取組によりめざす指標>	中間振り返り	達成状況			
広報誌、HP、SNSなどにより区の様々な取組(施策・事業・イベントなど)に関する情報がタイムリーに届けられていると感じる区民の割合 45%以上 【撤退・再構築基準】30%未滿	目標達成見込	目標未達成(40%)			
戦略に対する取組の有効性	課題と改善策				
中間 有効	-				
年度末 有効	SNSや広報板等を活用し、即時性を活かした広報活動を行ったが、今後は、ターゲットに応じた媒体の活用を図り、幅広い世代に情報を届けられるよう取り組んでいく。				
<b>前年度までの実績</b>					
元年度実績 ・広報誌の全戸配付 4～3月 ・ホームページ情報掲載(通年) ・SNS情報掲載(通年)					

## 4-2 区民が満足・納得できる区役所運営

めざす状態 ＜概ね3～5年間を念頭に設定＞	戦略＜中期的な取組の方向性＞				戦略の進捗状況	戦略のアウトカムに対する有効性	課題									
<ul style="list-style-type: none"> <li>区役所来庁者等に対する窓口サービスを向上させ、24区中トップレベルのサービスを実現している状態</li> <li>区役所の業務が効果的・効率的に運営されるような様々な取組が進められており、その取組が評価されている状態</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>区民の皆さまが快適で利用しやすい区役所となるよう、庁舎案内の改善や窓口での対応の向上を図るとともに、来庁者の声を適切に把握し改善につなげる。</li> <li>区役所業務の運営について、業務プロセスの改善・事務の集約化など効率化に務め、成果を情報発信していく。</li> </ul>				順調	有効であり、継続して推進	-									
<b>アウトカム(成果)指標＜めざす状態を数値化した指標＞</b>					<table border="1"> <thead> <tr> <th>前年度</th> <th>今年度</th> <th>個別評価</th> <th>全体評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3.2～3.7</td> <td>3.5点以上の窓口等 3/5</td> <td>順調</td> <td>順調</td> </tr> </tbody> </table>		前年度	今年度	個別評価	全体評価	3.2～3.7	3.5点以上の窓口等 3/5	順調	順調	「区役所来庁者等に対するサービスの格付け結果」において、3年度までにすべての調査対象窓口において評価点3.5点以上を獲得する	今後の対応方向
前年度	今年度	個別評価	全体評価													
3.2～3.7	3.5点以上の窓口等 3/5	順調	順調													

### 具体的取組4-2-1 区民サービスの向上

H30決算額	2,641千円	元予算額	2,765千円	R2予算額	32,536千円
<b>取り組むこと</b>					
「来庁者等に対する窓口サービス」の民間事業者の調査結果を取り入れ窓口サービス改善につなげるとともに、結果を活用して、外部講師による接遇研修を実施し、職員のスキル向上を図るとともに、快適な環境づくりを行う。					
計画(取組内容)	中間振り返り	年度末(取組実績)			
①接遇研修 1回 (高齢者や障がいのある方など、配慮が必要な方へのユニバーサル・サービスを含む) ②庁舎の環境整備等 通年	取組は予定どおり進捗	取組は予定どおり実施しなかった ①新型コトの影響により未実施 ②計画どおり実施			
プロセス(過程)指標 ＜取組によりめざす指標＞	中間振り返り	達成状況			
接遇能力の向上や接遇に対する職員意識が高まったと思う職員の割合 80% 【撤退・再構築基準】50%未満 【改定履歴あり】	(当初目標) 目標未達成 見込	未測定			
戦略に対する取組の有効性		課題と改善策			
中間	(当初指標) 未測定	窓口サービスに係るお客様アンケートから変更し、接遇に関する職員アンケートを実施する。			
年度末	(改定指標) 未測定	コロナ禍により当初予定していた外部講師による集合接遇研修は実施できなかった。次年度は、コロナ禍においても実施可能な手法等を検討し、より効果的な接遇研修を実施する。			
前年度までの実績					
元年度実績					
<ul style="list-style-type: none"> <li>外部講師による接遇研修(全職員対象) 1回(10月)</li> <li>コンプライアンス研修(全職員対象) 1回(10月)</li> <li>人権研修(全職員対象) 1回(10月)</li> <li>キッズ・スペースの運営</li> <li>区庁舎照明のLED化</li> <li>庁舎の飾りつけ</li> </ul>					

### 具体的取組4-2-2 効果的・効率的な業務運営

H30決算額	- 千円	元予算額	- 千円	R2予算額	- 千円
<b>取り組むこと</b>					
他区の先進事例を調査しながら、ICTの活用による業務効率化など組織的な業務プロセスの改善に取り組む。					
計画(取組内容)	中間振り返り	年度末(取組実績)			
①5S活動、標準化の実施 通年 ②ペーパーレス化の推進 通年	取組は予定どおり進捗	取組は予定どおり実施 ①②計画どおり実施			
プロセス(過程)指標 ＜取組によりめざす指標＞	中間振り返り	達成状況			
業務改善件数 5件 【撤退・再構築基準】3件以下	目標達成見込	目標達成(5件)			
戦略に対する取組の有効性		課題と改善策			
中間	有効	-			
年度末	有効	-			
前年度までの実績					
元年度実績					
<ul style="list-style-type: none"> <li>5S活動・カイゼンチームの確立(5月)</li> <li>5S活動の実施(8月)</li> <li>スケジューラー活用の周知(4月)</li> <li>庁内PCを活用したペーパーレス会議の実施(9月～)</li> </ul>					



## 運営方針の達成状況(総括表)

### ◆重点的に取り組む主な経営課題

#### <具体的取組>

業績目標の達成状況		
目標達成		15
	取組は予定どおり実施	13
	取組を予定どおり実施しなかった	2
目標未達成		2
	取組は予定どおり実施	1
	取組を予定どおり実施しなかった	1
撤退・再構築基準未達成		0
未測定		3
合計		20

戦略に対する取組の有効性		
有効であり、継続して推進		17
有効でないため、取組を見直す		0
プロセス指標未設定（未測定）		3
合計		20

#### <めざす成果及び戦略>

戦略の進捗状況		
順調		9
順調でない		1
合計		10

アウトカムの達成状況		
順調		9
順調でない		1
合計		10

戦略のアウトカムに対する有効性		
有効であり、継続して推進		10
有効でないため、戦略を見直す		0
合計		10